

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4110311331		
法人名	医療法人社団如水会		
事業所名	グループホーム「かがやきの里」とどろき		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1574番地		
自己評価作成日	平成 30年 12月 27日	評価結果市町村受理日	平成31年3月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成 31年 1月 28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療機関に隣接しているため、入居者の急変時には対応が素早く出来る。また、経管栄養・痰吸引のできる施設で登録しているため、医療度の高い方の受け入れも可能となっている。看取りも出来る態勢を作っており最期まで過ごしていただける施設を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

協力医療機関に隣接したホームであり、喀痰吸引の研修を終了した介護職員が配置されており、口腔ケアも熱心に行われている。医療的ニーズの高い入居者も対応が可能な体制が整備されている。また、「看取り」への対応も行っており、家族や職員に見守られながら最期まで安心した生活ができるように支援している。運営会議には家族の参加が多く、行事のスライドショーなども製作し喜ばれている。研修会も充実しており、職員は積極的に研修を受講することができるなど、スキルアップに向けた取り組みも行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	1F	2F		1F	2F
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	○	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	○
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	○	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	○
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	○	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	○
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	○	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	○
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	○	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	○	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	○			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念「すべての人に健康という幸せを提供しつづける」をカンファレンスの度に唱和し確認している	法人の理念「すべての人に健康という幸せを提供しつづける」をカンファレンスの度に唱和し確認している	理念を玄関に掲示している。ケアをしながら常日頃から確認の声かけを行っている。また、新しい職員には新人研修で理念の周知を行っている。各ユニットや職員で一年間の目標を作成し、振り返りを行うことで、理念の実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の方との交流は夏祭りに限定されているが、顔見知りいなり挨拶を続けている。以前入居されていた方のご家族の訪問もある	地域の方との交流は夏祭りに限定されているが、顔見知りいなり挨拶を続けている。以前入居されていた方のご家族の訪問もある	夏祭りや敬老会では、唄や踊りなどのボランティアの訪問がある。また、ハロウィンや芋ほりでは、保育園児との交流もしている。ご近所からの野菜の差し入れがあるなど、地域住民との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	夏祭りにおいて、今年は災害時の持ち出し物品等を展示した。	夏祭りにおいて、今年は災害時の持ち出し物品等を展示した。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度会議を開催している。全員の参加はむずかしいが、参加者のご家族同士の交流の場となっている。	2ヶ月に一度会議を開催している。全員の参加はむずかしいが、参加者のご家族同士の交流の場となっている。	家族の参加が多く、市職員等との意見交換を行っている。会議で出た意見は、職員間で共有し、ホームでのサービス提供の方法等を検討し、家族の理解が得られるような工夫をしている。しかし、地域住民の参加はこれからである。	今後、地域の代表者が参加しやすいような声かけ等の取り組みを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	GH協議会の役員をしているため、日頃より市の担当者等と交流ができている。今後は他のGHとの交流を深める計画	GH協議会の役員をしているため、日頃より市の担当者等と交流ができている。今後は他のGHとの交流を深める計画	グループホーム協議会への参加や、書類提出等の際には直接的に関わり、意見交換ができる関係作りにも努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみである。離ホームの可能性のある利用者もいるが、出入り口の開閉時にセンサーがなる度に、所在確認を行っている。	玄関の施錠は夜間のみである。離ホームの可能性のある利用者もいるが、出入り口の開閉時にセンサーがなる度に、所在確認を行っている。	身体拘束はしておらず、玄関の日中の施錠もしていない。研修等を通し、身体拘束しないケアについて職員間での理解を深めている。職員間で話し合い、身体拘束に頼らないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	勉強会の年間スケジュールを組み、法人の在宅部全体で学びの場を作っている。	勉強会の年間スケジュールを組み、法人の在宅部全体で学びの場を作っている。		

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括センターの職員の出前講座を利用し、勉強会を開催している	地域包括センターの職員の出前講座を利用し、勉強会を開催している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、ケアマネジャーが契約書・重要事項説明書を読み上げて確認しながら行っている	管理者、ケアマネジャーが契約書・重要事項説明書を読み上げて確認しながら行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している	玄関に意見箱を設置している	玄関に意見箱を設置しているが、面会時などに、直接、話しを聞いている。雰囲気を作るため、積極的に入居者の状況報告をするなど配慮している。出た意見は職員間で共有し、すぐに対応するなど、運営や支援方法に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスで意見を出し合って改善に努めている	カンファレンスで意見を出し合って改善に努めている	カンファレンスなどでは、職員の意見や提案を出来るだけ運営に活かすように努めている。また、連絡ノートで情報の共有を行い、実践することで意見の反映を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回の個人面談をおこない、希望や不満などを聞き取り、また、個人のレベルにあわせた目標設定を話し合っている	年に2回の個人面談をおこない、希望や不満などを聞き取り、また、個人のレベルにあわせた目標設定を話し合っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部、院内の研修の参加をすすめている	外部、院内の研修の参加をすすめている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会の役員をすることで、他の施設の管理者とも交流が出来る。今後はGH協議会全体で交流会を予定している	GH協議会の役員をすることで、他の施設の管理者とも交流が出来る。今後はGH協議会全体で交流会を予定している		

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者さんの意見や希望なども聞きながら、ホームで出来ることを提案している	入居者さんの意見や希望なども聞きながら、ホームで出来ることを提案している			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	はじめて施設に入居される方が多いので、面会等の頻度等を心配される方もおおいため、質問にはすぐに答えられるようにしている	はじめて施設に入居される方が多いので、面会等の頻度等を心配される方もおおいため、質問にはすぐに答えられるようにしている			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者の反応や行動を見ながら、柔軟に対応している	入居者の反応や行動を見ながら、柔軟に対応している			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	会話の幅が広がるようにスタッフが声を掛け合いながら、入居者同士の接触を図っている	会話の幅が広がるようにスタッフが声を掛け合いながら、入居者同士の接触を図っている			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には状況の報告をおこない、普段の生活について「できる」事を喜んで伝えている	面会時には状況の報告をおこない、普段の生活について「できる」事を喜んで伝えている			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自衛隊の方や国鉄にお勤めの方などは同僚などの面会がある	ほとんど家族の面会のみであり、他との交流はない、入居時に面会者の確認をとっており、「家族のみ」の方がおおい	友人・知人の訪問もみられ、ゆっくり過ごして頂けるように、居室で過ごしてもらうなど配慮している。馴染みの場所への外出希望にも、系列事業所間の協力で柔軟に対応し、関係性の継続に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアで車椅子で道の譲り合いなど声掛けしている	歌の番組などで歌を歌い交流している			

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなった方の初盆参りなどしている。看取りを行った方の長男嫁さんから運営推進会議の参加をおねがいがしたが、都合で欠席であったが、お手紙を頂き披露することができた。	亡くなったかたの初盆参りなどをしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランは定期的、また変化が著しいときには見直しをおこなっている	ケアプランは定期的、また変化が著しいときには見直しをおこなっている	本人の日常生活や、家族から聞いた生活歴等を参考に、意向を理解するようにしている。また、必要に応じて、医師や家族とも相談して、入居者の希望に沿った支援ができるよう、職員間で共有し反映に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	若い頃の話をする事ができる、既往歴などは子供さんでは把握できないことも多い	若い頃の話をする事ができる、既往歴などは子供さんでは把握できないことも多い		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日を通し、変化があるため臥床時間をつくる、また、活動する時間をつくるなど変化している	一日を通し、変化があるため臥床時間をつくる、また、活動する時間をつくるなど変化している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネジャー、計画作成担当者だけでなく、スタッフの意見も反映している	ケアマネジャー、計画作成担当者だけでなく、スタッフの意見も反映している	個別ケースでは介護計画に沿った記録や情報を共有し、日々の実践チェック表やモニタリング評価表を参考に、入居者に合わせた計画作成を行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録とケアプランの記録も行き、次回のケアプランに活かせるようにしている	個人記録とケアプランの記録も行き、次回のケアプランに活かせるようにしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	固定したレクリエーションは無く、季節や天候に合わせて集団、または個別に外出や外でBBQなどを行っている	固定したレクリエーションは無く、季節や天候に合わせて集団、または個別に外出や外でBBQなどを行っている		

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	敬老会の行事に地域のボランティアさんの力をお借りして楽しめている	敬老会の行事に地域のボランティアさんの力をお借りして楽しめている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体の関係医療機関との連携は出来ている	母体の医療機関だけでなく、入居前からのかかりつけ医の訪問診療を行って医療の継続性を保っている	かかりつけ医継続が可能で、連携も密に取っている。受診もホームの支援を受けることができ、必要に応じて家族へ報告し、情報の共有を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態の観察を行い変化がある場合などは誰に連絡するのはあらかじめ取り決めている	状態の観察を行い変化がある場合などは誰に連絡するのはあらかじめ取り決めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は毎日面会に行き病棟スタッフから情報収集に努めている	入院中は毎日面会に行き病棟スタッフから情報収集に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居当時から看取り、終末期の説明を行いご家族に話し合いの機会を作っていただくようにしている。状態の変化がある際はその都度説明を行い対応の仕方を確認している	入居当時から看取り、終末期の説明を行いご家族に話し合いの機会を作っていただくようにしている。状態の変化がある際はその都度説明を行い対応の仕方を確認している	入居時に重度化時の対応方針を説明し、家族と話し合い、同意を得られている。職員は緊急時の対応を周知しており、看取りの場合は医師より家族に十分な説明を行い対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	心肺蘇生法を年に1回講習受けている。	心肺蘇生法を年に1回講習受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災だけでなく、風水害時の避難についてもスタッフで話し合い、取り決めている	火災だけでなく、風水害時の避難についてもスタッフで話し合い、取り決めている	年2回、消防署の参加や夜間想定での避難訓練及び消火訓練を実施している。緊急時のガスコンロなどの備蓄品も完備している。しかし、夜間専門職員の訓練参加や、地域住民への協力依頼は十分とは言えない。	夜勤専門の職員の訓練参加と地域の方への協力依頼の継続を期待したい。

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価		
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	親しみをこめると、馴れ馴れしいを間違わないようにしている	親しみをこめると、馴れ馴れしいを間違わないようにしている	一人ひとりに合わせた言葉かけを行い、プライバシーの保護に配慮し、出来るだけ自然なトイレ誘導を心掛けている。記録は所定の場所に保管するなど、個人情報保護に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	答えやすい質問の仕方をするなどしている、答えをあせらせないようにしている	答えやすい質問の仕方をするなどしている、答えをあせらせないようにしている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴などある程度に日程はきまっているが、声かけし気分に合わせて行っている	入浴などある程度に日程はきまっているが、声かけし気分に合わせて行っている			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節にあわせた衣類の選択が出来なくなっている方もおり、季節ごとに衣類の整理をおこなっている	季節にあわせた衣類の選択が出来なくなっている方もおり、季節ごとに衣類の整理をおこなっている			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの髭をとってもらったりしている	いなりずしをつくるなど、以前の仕事で慣れた事してもらったりしている	食材は宅配業者を利用している。メニューは決まっているものの、好き嫌いに応じて代替品の提供や、行事に合わせた食事など、柔軟に対応している。また、手作りおやつを入居者と一緒に作ったり、外食に行くなど、食事を楽しむ工夫を行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	能力にあわせて刻んだり、トロミを付けたりしている	能力にあわせて刻んだり、トロミを付けたりしている			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のケアに力を入れて口腔内の細菌を減らし、誤嚥性肺炎を発生させないようにしている。舌の汚れにはタンサンでうがいを行っている	食後のケアに力を入れて口腔内の細菌を減らし、誤嚥性肺炎を発生させないようにしている。舌の汚れにはタンサンでうがいを行っている			

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターンを知り、できるだけトイレでの排泄を声掛けし、立ち上がり問題がある方は二人で介助するなどしている	排泄のパターンを知り、できるだけトイレでの排泄を声掛けし、立ち上がり問題がある方は二人で介助するなどしている	個人の排泄記録から排泄パターンを把握し、本人の様子観察を行い、無理のないトイレへの声かけや、誘導を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄を記録し水分のコントロールや下剤で気持ち良く排泄できるように心がけている	排泄を記録し水分のコントロールや下剤で気持ち良く排泄できるように心がけている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	順番で声掛けしているが、気分がのらない時は無理強いほしない。体調によって、順番や入浴時間を制限はしている	順番で声掛けしているが、気分がのらない時は無理強いほしない。体調によって、順番や入浴時間を制限はしている	入浴日を決めているが、入浴を嫌がられる方については、その時々工夫したタイミング・声かけを行うなど、柔軟に対応している。脱衣所と浴室の温度差が出ないように温度調節を行い、機械浴を整備するなど、安心して入浴できるような浴室環境となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠剤は使用せずに自然に入眠できている	眠剤は使用せずに自然に入眠できている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	血圧や下剤については各チェック表で確認し主治医に報告するようにしている	血圧や下剤については各チェック表で確認し主治医に報告するようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	女性は家事(洗濯物を畳むなど)の協力を依頼している。男性は新聞をよむなどで過ごす事がおおい	女性は家事(洗濯物を畳むなど)の協力を依頼している。男性は新聞をよむなどで過ごす事がおおい		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	スーパーのチラシをみて、「行きたい」との要望にこたえたり、誕生日には食べたいお店などにスタッフとでかけるなどしている	スーパーのチラシをみて、「行きたい」との要望にこたえたり、誕生日には食べたいお店などにスタッフとでかけるなどしている	入居者の重度化に伴い、外出の頻度は少なくなっているものの、入居者の要望にあわせて買物や散歩に行くなど、個別の支援に努めている。また、家族との外出時には、家族へのアドバイス等を行うなどの配慮も行っている。	

自己	外部	項目	1F	2F	外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本はお金は持たないようにしているが、小額を持っている公衆電話で家に電話したりしている	基本はお金は持たないようにしているが、小額を持っている公衆電話で家に電話したりしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望に合わせて行っている。	電話は希望に合わせて行っている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭いには注意して、フロアや各部屋に消臭剤をおいている。乾季にも注意して気持ち良く過ごせるようにしている	臭いには注意して、フロアや各部屋に消臭剤をおいている。乾季にも注意して気持ち良く過ごせるようにしている	リビングは明るく、行事の写真や季節を感じる入居者と一緒につくった作品等を掲示している。掲示物の位置も入居者の状況に合わせた高さにするなどの工夫もある。加湿器も整備しており、快適な温度と湿度を保つなど、居心地のいい空間づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアでは決まった場所で食事をとることもあるがおやつなどは面会の家族などと会話できるようにしている	フロアでは決まった場所で食事をとることもあるがおやつなどは面会の家族などと会話できるようにしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前しようしていた家具などを持ち込んでいただいている	以前しようしていた家具などを持ち込んでいただいている	居室は、入居者の希望に応じて使い慣れた家具などが持ち込むことができる。清潔に保たれ、落ち着いた雰囲気ですることができる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来ることは制限せずに危険と感じることにに対しては傍に付き添うなどしている	出来ることは制限せずに危険と感じることにに対しては傍に付き添うなどしている		